

中国建築科学研究院 (CABR)

中国建築科学研究院 国際協力部 処長 孔 冬青

皆様おはようございます。

第四回日中建築住宅技術交流会議は本日ここに盛大に開催する運びとなり、中国建築科学研究院を代表いたしまして、心より祝賀の意を申し上げますと共に、会議の成功を確信いたします。

2009年以來、国際金融危機を背景に、激しい市場競争に直面しつつ、当院は引き続き総合力と専門技術力の強みを活かし、全職員の努力のもとで、主に次の業務を行ってまいりました。

一、金融危機に積極対応、経済効果は安定成長

2009年全体の新規契約額は42億4700万元でした。営業売上は実績ベース35億5700万元で、対前年伸び率5.6%、利益総額は1億3300万元で、対前年伸び率は18.88%です。科学技術支出は1億8500万元、科学技術投資の伸び率は14.06%になります。2010年は上記指標のいずれもそれぞれ前年より若干伸びています。

二、科学技術プロジェクトの実行力が増し、業界影響力がさらにアップ

(一) 建設分野の科学研究プロジェクトを担い、国内の業界技術の発展を支えています。

2009年に実施した科学研究プロジェクトは435件、そのうち国家レベルプロジェクトが145件、省と部レベルプロジェクトが98件でした。科学技術賞を受賞したプロジェクトも数多く、特許取得数も年々増えています。2010年は実施中の研究プロジェクトが436件、うち国家レベル146件、省と部レベル89件となっております。

(二) 標準規格の作成と研究活動を強化し、国内業界の技術規格制定水準を高めました。

2009年に当院が担当した標準規格プロジェクトは計190件で、そのうち国家規格が72件あります。2010年は、標準規格プロジェクト計149件を担当、うち国家工事基準と製品国家基準が70件あります。

(三) 政府当局に協力し国の科学技術プロジェクトを管理し、その順調な実施を保障しました。

当院は国家科学技術支援計画9プロジェクトの実施専門家グループの座長団体であり、また管理事務室の母体でもあるので、政府に協力してプロジェクトの技術交流を組織し、課題の進捗状況をチェックし、年度実施状況のレポートを作成・報告し、プロジェクト成果の宣伝等の活動を推進するなど、業界のリーダー的存在となっております。科技部と住建部のために、国家中長期科学技術発展計画の中期実行情況レポートを作成し、2009年「都市化と都市発展」分野の優先テーマ及びプロジェクトの実施状況レポートを作成し、さらに既存建築改造・建築省エネ等プロジェクトの中期検査評価あるいは年度実施状況検査といった作業を実施しました。

三、進取の精神で開拓し、コンサルとサービス、設計と計画、施工と監理、測定と認証、ソフトウェアと製品等の分野で好業績

国家認証認可監督管理委員会の承認を得て、什邡市〔訳注：四川省の市〕に国家建設工物品質検査センター什邡災害復旧実験室を設立し、地震被災地区で技術支援を行いました。2009年7月には国家認監委の承認を得て「国家建築省エネ品質監督検査センター」を設立しました。国家建設工物品質検査センターは五年に一度の国家実験室認可委員会による実験室/検査機構現場再審査にパスし、引き続き計量認証と権限賦与を取得しました。

四、業務の分野と地域を拡げ、新たな経済成長点を育成

建築風工学の業務を意欲的に展開し、大型建築の風工学試験と技術コンサルを30数件実施し、業界におけるステイタスを高め、我が国北方地区の建築風工学試験と技術コンサル市場で大きなシェアを占めました。

再生可能エネルギー利用という新たな分野を積極的に開拓し、再生可能エネルギーの都市レベ

ル計画と建築エネルギー効率査定表示といった活動も展開しました。

グリーン建築コンサル業務も積極的に拡げ、科学技術部の中国とイランの中国住宅建築温室ガス排出削減モデル工事等のプロジェクトの、グリーン建築に関するコンサル任務を担当しました。

鉄道や地下鉄業界等の分野の業務も新たに拡げ、京滬高速列車の専用線路の区間プロジェクトにおける実地調査と、北京地下鉄乗換駅の白石橋駅地盤工事を請け負いました。

また長沙空港ターミナルビルや、上海虹橋・ハルピン西駅など鉄道駅ビルと複数の鉄道指令センタープロジェクトの防火性能化評価任務も担当しました。

橋梁トンネル測定業務でも積極的に開拓し、重慶に長期プロジェクト部を設立し、重慶市の市政橋梁測定資格を取得し、重慶の橋梁 60 余基と地下通路の測定任務を担当しました。

さらに安全性事故評価・標準養成訓練・専門家コンサルなどの総合資源を利用し、内蒙古・広東・天津などでクレーン安全監視デジタル管理技術総合サービスという新たな分野を創設しました。

五、国際協力を強化し、海外市場におけるプロジェクト規模が拡大

当院は引き続き「出て行って、引き入れる」という戦略を実践し、対外経済技術開発・協力を進め、利益と効果が安定的に伸びています。海外の建築科学分野の著名な科学研究機構との協力と交流を続け、合意書の技術協力プロジェクトを実行しています。

中国住宅建設部の住宅センターと中国建築設計研究院と共に、日中 JICA 第 4 期プロジェクト「中国住宅省エネルギー技術向上」を完成させ、住建部と日本国際協力機構の高い評価を受けました。日本のヒートポンプ・蓄熱センター等と協力合意書に調印しました。日本との協力で基礎工事機械、三支点杭打ち機などの開発設計プロジェクトも行っています。またアメリカのエネルギー基金会と協力して、グリーン建築設計規格の研究も行っています。

海外での測定鑑定業務も増えており、セネガル、スリナム、アンゴラ、タンザニア等、我が国の海外援助プロジェクトの測定鑑定を請け負いました。大体、中国商務部から請け負っております。

フランスの CSTB ソーラーエネルギー測定部門との協力では、ヨーロッパ基準により実験試験設備を改良して、ソーラーエネルギー集熱器の測定性能比較を展開しました。

中東、トルコなどの超高層建築の昇降装置開発を担当し、高速重量施工昇降機、鉄筋ネット成型機などの製品が海外ユーザの高い評価を得ました。

またイランの某油田キャンプ地の計画設計も請け負いました。

六、インフラ建設を強化し、研究環境をさらに改善

延床面積 64,500 m² の新研究実験ビルは、2009 年 11 月 18 日正式着工され、現在順調に進んでおります。2011 年の旧正月までに主体構造の完成を目指しております。

また通州の実験基地ではカーテンウォール・風洞・防火の 3 実験室が工事の検収を済ませ、既に運営が始まっており、建材実験室も既に完成しました。

廊坊開発区の建築機械生産基地も完成し運転が開始され、国家技術支援計画プロジェクトと河北省重要技術イノベーションの実施に向けて生産前試験と産業化のための条件を提供しました。

七、第 12 次五か年計画期間における当院の発展戦略と計画を作成し、今後五年間の発展方向を明示

当院の発展戦略と計画を調整・補充し整備いたします。当院の発展戦略と計画は今後五年間の位置づけを明確にするもので、発展の重点・経済指標・組織構造と資産構造の調整目標を確定し、同時に科学技術・経営・人材・企業文化等の面から保障措置を打ち出します。

八、管理構造を調整し、管理レベルを絶えず高める

今後の当院発展の要請に応えるために、2010 年は当院全体の管理の枠組みについて分析と調整を行い、調整後の枠組みに基づいて管理方式を明確にし、管理の流れを整理し、管理ドキュメン

トを調整し補充して、業務管理の効率とレベルを高めてまいります。

中国建築科学研究院は、本日もご参会の研究機構や企業の皆様と長く友好的な協力関係がありますので、今回の交流会議によって、さらにお互いの交流が拡がり、協力が深まり、日中両国の建築技術レベル向上につながることを期待しております。

ありがとうございました。